【がんばったネ】

◆ 中越教育美術展 ◆

特　選　1年

◆令和元年度トキめき体力つくり認定者◆

1年

2年

3年

4年

5年

6年

Nen

二学期の反省と来年に向けて

二学期の終業式の際に、子供たちが発表する作文です。子供たちの中には、素敵な発想や言葉がいっぱい！　それらを紙の上に紡ぎ出し整理していく中で、素晴らしい考えが「かたち」となって表れます。

一年

わたしが二学きがんばったことは、二つあります。

一つ目は、マラソン大かいです。どうしてかというと、れんしゅうをして十四いでしたが、本ばんは十一いがとれたので、うれしかったからです。がんばってよかったと おもいます。

二つ目は、文かさいです。どうしてかというと、さくひんを ていねいに かいたからです。

このように、二学きわたしは、マラソン大かいと 文かさいをがんばりました。

つぎに、冬休みにがんばりたいことは、しゅくだいです。どうしてかというと、字が じょうずに かけるように なりたいからです。あと、あたまがよくなるためです。しゅくだいをいっぱいがんばりたいです。

・・・・・・・・・・・・

二年

私が二学期にがんばったことの一つが漢字です。それは、一学期よりも、むずかしい漢字がふえたし、おぼえる漢字の数も多いからです。漢字のテストの前には、読んだり書いたりしながら、正しく書けるように練習しました。

もう一つがんばったことがあります。それは、九九です。九九のテストの前には、すらすら言えるように、何度も家の人にも聞いてもらって練習しました。私は、算数はあまり得意ではありませんが、九九は、三年生になってからのわり算でも使うので、九九をしっかりおぼえたいと思って練習しました。三学期も続けたいと思います。

冬休みにがんばりたいことは、宿題がぎりぎりにならないようにすることです。それと、これまで自学では、漢字をやることがおおかったのですが、今年はとくいではない計算の練習もやって、ちょっとがんばったなと思える冬休みにしたいと思います。

・・・・・・・・・・・・

三年

二学期をふり返って、自分なりにがんばったと思うことが二つあります。

一つ目は、マラソン大会です。さい後まで歩かず走り切ることができたからです。コースの後半はとくに苦しくて、息がとてもあらくなってしまいましたが、あきらめずゴールを目指して走りました。来年のマラソン大会でも自分のペースを守って走りぬきたいです。

二つ目は、文化祭のげきです。クラスで何度も練習をしているうちに、少しずつ大きな声と動きでえんぎができるようになりました。たくさんのお客さんに笑ってもらえてうれしかったです。

三学期は、二重とびの練習に力を入れたいです。二重とびで数回しか続けてとぶことができないからです。マラソンや文かさいのげきの時のように、あきらめずに何度も取り組み、二重とびの回数を少しでもふやしたいです。

・・・・・・・・・・・・

四年

二学期のはじめに、「一学期のふく習をする」「計算ドリルを計画的に進める」「ねる時間を守る」というめあてを立てました。

まず、「一学期のふく習をする」というめあては、もし、二学期の勉強を進める時に、一学期に習ったことに関係していたら、念のため、もう一回ドリルで一学期のふく習をしました。おかげで、二学期の勉強が楽になりました。

つぎに、「計算ドリルを計画的に進める」というめあては、初めのころは、進んで取り組んでいませんでした。でも、それではだめだと思い、家でも学校でも、空いている時間に少しずつようにして、計画通りに進められました。

最後に、「ねる時間を守る」というめあては、中野先生の保健の授業で、すいみん時間をとることはとても大切だと思ったので、しっかり守ろうと思いました。習い事のある日は、少しおそくなることがありましたが、時計を見ながら気を付けて行動したので守ることができました。

このように、二学期のはじめに立てた三つのめあてを全部達成することができました。これまでは、と中であきらめることが多かったのですが、今回のことで、「強い気持ちでやろうと思えば、ちゃんとできるんだ。」という自信につながりました。

いい冬休みになるように、早ね早起きをして、二学期のふく習もしてすごしたいです。

・・・・・・・・・・・・

五年

この二学期を振り返ってみて、大切だと思ったことは、家庭学習です。十月くらいまでは、その日に学校で勉強したことや学習プリントの復習をあまりしていませんでした。そうしたら、困ったことに、少し分からない問題が出てくるようになりました。やっぱり、できなかった問題は、家でもう一度しっかり復習しなければならないと思い、十一月位から復習をするようになりました。

復習をするようになってから、勉強も分かるようになったので、この冬休みも、苦手なところを中心に復習をしたいです。

冬休みには、書き初めもがんばりたいです。今年の課題の文字は、昨年よりも文字のバランスが取りにくいので、一字一字をていねいに書くことを意識して練習をしたいです。

・・・・・・・・・・・・

六年

九月に立てた二学期のめあての達成のために頑張ったことがあります。

一つ目は、算数の問題です。どうしてかというと、グループで問題を解くときに、進んで発言できたからです。例えば、時速を求める計算の方法を説明したり、分からないことを教え合ったりしました。ホワイトボードにまとめて、班の代表として発表したこともあります。がんばったので、テストでは、ほぼ九十点以上とれました。文章問題については、まだ苦手なので、冬休みに勉強したいと思います。

二つ目は、陸上大会です。ぼくは一般百メートル走でした。選抜百メートル走の人と一緒に練習したので大変でした。例えば、三十五秒でグラウンドを一周するインターバルです。メンバーみんなで、声を掛け合ってがんばりました。

つまり、ぼくは算数と陸上で助け合うことの大切さを学びました。三学期は小学校最後なので、卒業に向けてがんばります。

書くことで、自分の中の「思考の小宇宙」を紡ぎ、新しい「自分」に気付き発見することにつながっていきます。

さすがだ「笑顔でぺこり」

一昨年度から始まった全校交通安全運動「笑顔でぺこり」は、簡単なことであり難しいことでもあります。止まってくれる自動車にぺこりとお辞儀をして、にっこり笑顔をするだけですから、ほんの数秒間ですみます。子供のアンケートや、先週の校外須童会での反省から、ほとんどの子供たちが意識して取り組んでいます。

朝の校門前の信号機のところで、左と右に止まっている車にそれぞれお辞儀をする姿は、「さすがだ」です。運転をする大人も、「気を付けて行こう」という気持ちが、体の中からわき上がります。須田小の子供たち一人一人のしたことが、次の人、その次の人に伝わってほしいです。そして、須田小以外にも広がってほしいです。

ドライバーにも未来のドライバーにも「心にゆとり」を生み出す「笑顔でぺこり」を冬休みこそ、いつでも・どこでも・ひとりでも取り組みましょう。